

平成29年度 履修証明プログラム「コミュニティソーシャルワーカー(CSW)スキルアッププログラム」履修生願書(1-2)

※1 受講希望科目について、希望の有無欄に○を付してください。

※2 受講時間数は合計120時間以上が必要です。

氏 名 :

受講予定科目(受講を希望する科目の左側に丸印を付してください。)

希望の有無	必修・ 選択の別	科目名	時間数	主な内容
○	必修	地域福祉の時代とコミュニティソーシャルワーク	6	・自助・共助・公助の福祉ミックス ・地域福祉をめぐる政策の動向
○	必修	コミュニティソーシャルワークⅠ	3	・コミュニティソーシャルワーク ・ソーシャルグループワーク
	必修	コミュニティソーシャルワークⅡ	3	
○	必修	ケースワーク	3	・個別援助
○	必修	データによる社会調査・分析(社会疫学)	6	・アンケート調査の実際 ・統計ソフトを使った分析の実際
○	必修	データによる社会調査・分析(ライフストーリー聞き取り)	6	・アンケート調査の実際 ・聞き取り調査の実際
○	必修	地域の施策と資源理解Ⅰ	3	・福祉の担い手とその役割と現状 ・地域福祉資源の抱える課題と解決方策
	必修	地域の施策と資源理解Ⅱ	3	
○	必修	組織運営Ⅰ	3	・リーダーシップと組織のマネジメント ・人的資源マネジメント、地域住民の組織化
	必修	組織運営Ⅱ	3	
○	必修	地域福祉活動計画Ⅰ	3	・地域福祉活動(支援)計画の理解 ・地域福祉計画策定の実際とその課題
	必修	地域福祉活動計画Ⅱ	3	
	選択	資金調達と運用	3	・戦略的なファンドレイジング ・ファンドレイジングに取り組む必須要件
	選択	資金調達と運用	3	
	選択	協働の手法	3	・協働の歴史、協働の事例 ・課題と今後について
	選択	協働の手法	3	
	選択	ファシリテーションの実際	6	・協働ファシリテーションの考え方 ・協働ファシリテーション演習
	選択	ワークショップ運営	6	・住民参加型のまちづくりにおける合意形成 ・効果的なワークショップ運営のための手法
	選択	傾聴の技法	3	・相談力向上(聴き上手になる)技法 ・ワーカーの持つ価値に係る自己覚知の意義
	選択	特論演習Ⅰ(高齢者支援と地域社会)	6	・地域包括ケアセンター活動の実際 ・地域包括ケアシステム構築に向けての課題
	選択	特論演習Ⅱ(生活困窮者支援と地域社会)	6	・生活困窮者自立支援モデル事業の実際と課題
	選択	特論演習Ⅲ(子育て支援と地域社会)	6	・地域社会と子育て支援 ・地域の子育て力向上の事例とその課題
	選択	特論演習Ⅳ(障害者支援と地域社会)	6	・障害者を取り巻く地域社会の現状と課題 ・課題解決に向けた方策と目指すべき方向
	選択	特論演習Ⅴ(発達障害者支援と地域社会)	6	・発達障害の理解 ・社会的取り組みの現状と課題
	選択	特論演習Ⅵ(精神障害者支援と地域社会)	6	・精神障害者福祉の現状 ・精神障害者の地域生活における現状と課題
	選択	特論演習Ⅶ(在日外国人支援と地域社会)	6	・地域社会に外国人が定着する環境とは ・外国人にとって快適な定住環境の形成
	選択	特論演習Ⅷ(NPOと地域社会)	6	・マルチステークホルダーによる連携促進 ・人材発掘・育成、情報プラットフォーム
	選択	事例研究ⅠA(まちづくりとコミュニティソーシャルワーク:仙台市を事例として)	3	・仙台市における先取的な事例紹介と演習形式での検討
	選択	事例研究ⅠB(まちづくりとコミュニティソーシャルワーク:南三陸町を事例として)	3	・南三陸町における先取的な事例紹介と演習形式での検討
	選択	事例研究ⅡA(石巻市を事例としたコミュニティソーシャルワーク)	3	・石巻市における先取的な事例紹介と演習形式での検討
	選択	事例研究ⅡB(美里町を事例としたコミュニティソーシャルワーク)	3	・美里町における先取的な事例紹介と演習形式での検討
	選択	事例研究ⅢA(災害時の住宅政策とコミュニティソーシャルワーク)	3	・応急仮設住宅 ・災害復興公営住宅
	選択	事例研究ⅢB(市民セクター／社会経済の展開とその課題)	3	・NPO・NGO ・社会的事業
○	必修	報告会(グループワーク)	3	・グループワーク